

水道料金等諮問資料

平成 31 年 2 月

1 中野市の水道事業の現況

(1) 水道事業の沿革

中野地域における最初の水道は、大正 12 年に大黒町 108 戸と中町 73 戸の簡易水道であり、水源は郡役所井戸と天神井戸でした。当時の中野町では、町の東北端を流れる夜間瀬川の清流を取り入れ、水路によって飲料水はもとより雑用水、農業用水等に利用をしていました。

大正に入り毎年腸チフスが発生し、大正 10 年、同 11 年には 200 余名の患者がでました。この対策として大正 13 年に栗和田地区に清浄な水源を求め、上水道事業経営の創設認可を受け、昭和 2 年 1 月に 1,161 戸に給水を始めました。

昭和 29 年に中野市が発足し、昭和 30 年に第 1 次 5 カ年計画により全市を上水道とし、これ以降給水人口、給水量の増加、浄水方法の変更等により 7 回の拡張事業を行いました。現在、第 7 次拡張事業である角間ダムの建設は一時休止となっています。

豊田地域は、昭和 31 年の豊井村・永田村合併に伴う新村建設計画で全村水道事業を行うことが決定されました。

当時の豊田村の水道は 44 箇所の集落単位であり、整備されていない地域もありました。水源は沢水であり、大雨の時などは水が濁るなど給水状況は不安定でした。

昭和 43 年に斑尾山山麓に試掘ボーリングを行い、水源（1 号・2 号井戸）を確保できたことから、昭和 44 年計画人口 5,700 人、計画一日給水量 1,210 m³として上水道事業経営の創設認可を受けました。これ以降、給水量の増加、水源開発等により 6 回の事業変更許可を受け、水需要の増加への対応や水質の向上に努めてきました。

北部簡易水道は、笠原・越のうち夜間瀬川右岸の地域、赤岩、柳沢、深沢、田上、岩井、岩井東区を給水区域としており、昭和 44 年度に創設、平成 13 年度には住民組合営の深沢簡易水道の統合による事業変更、平成 22 年度には倭北部簡易水道（田上、岩井、岩井東区）の統合による事業変更を行いました。

そして平成 28 年度末をもって、経営の効率化を図るため、中野地域上水道、豊田地域上水道、北部簡易水道は経営統合され、中野市水道事業として一本化されました。現在は計画給水人口 43,300 人、計画給水量 18,500 m³/日で認可を受けています。

(2) 中野市水道ビジョンの策定

計画的かつ効率的に水道事業を進め、将来にわたって安全で良質な水道水を安定して供給していくための基本計画となる「中野市水道ビジョン」を平成 22 年度に策定しました。

これは、水道の現状を分析・評価することで課題を抽出し、将来への目標を掲げ、その実現に向けて具体的な施策や方針を示しており、以降この「中野市水道ビジョン」に基づき、施設整備等を計画的に進めてきましたが、来年度で計画策定から 10 年目となることから、現在、来年度を目途に新たな水道ビジョンを策定すべく取り組んでおります。

(3) 水需要の現状と見通し

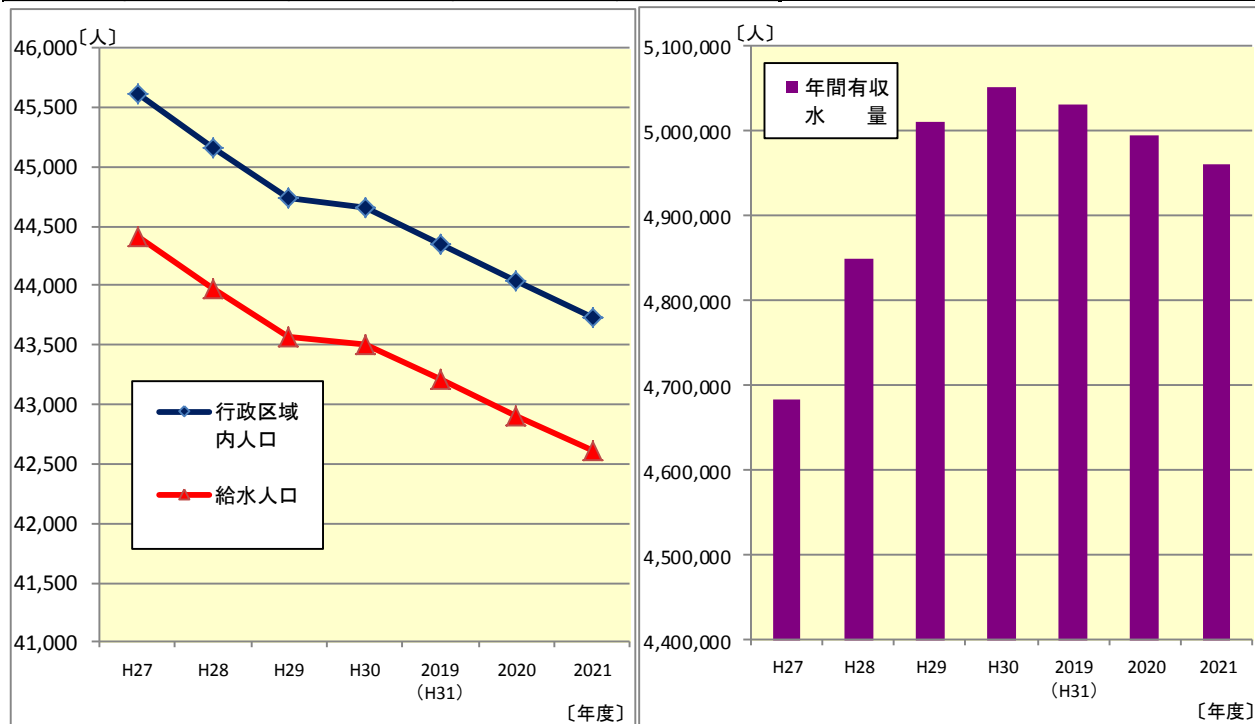
中野市水道事業は、供用開始以来、増加する水需要に対応するため水道施設の拡充に努め、安定供給を確保してきました。

近年の水需要としては給水人口の減少、節水機器の普及、節水意識の高まりなどから、家庭用水道においては減少傾向にあります。業務用水道においては大口需要者の使用量が増加しており、全体としては増加傾向となっています。

しかしながら今後の料金算定期間中の見通しとしては、家庭用水道は全国的な動向と同じく人口減少に伴い減少傾向が続き、また業務用水道についても事業者による更なる節水や自己水源への転換が図られるとみられるため、大幅な増加は見込めないと思われ。そのため全体として有収水量は減少するものと予測されます。

第1表 年間有収水量等の実績及び計画

項目	実績値			予定値 平成30年度	計画値		
	平成27年度	平成28年度	平成29年		2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度
行政区域内人口 (人)	45,616	45,160	44,740	44,664	44,351	44,041	43,733
給水人口 (人)	44,416	43,973	43,563	43,512	43,207	42,905	42,605
年間有収水量 (m ³)	4,683,675	4,850,150	5,011,252	5,052,085	5,030,465	4,995,252	4,960,285
対前年度 差額水量 (m ³)		166,475	161,102	40,833	△ 21,620	△ 35,213	△ 34,967



2 水道料金改定の経過

中野地域の水道料金は平成8年8月の改定以来、据え置きとしており、豊田地域の水道料金は平成12年4月の改定以来、据え置きとしてきましたが、平成17年4月から中野市と豊田村が合併し新「中野市」となり、その協議の中で合併後5年をめどに料金を統一することとしていました。

その結果、平成21年4月から中野地域の料金体系へ統一することになり、豊田地域は平均20.9%の減額となりました。

第2表 中野地域の水道料金の推移

(1ヶ月分、消費税抜き、単位：円)

料金改定時期	S61.8～	S63.8～	H2.8～	H4.8～	H7.1～	H8.8～ 現在
基本料金（口径）						
13mm	350	380	400	430	460	480
20mm	700	780	830	900	980	1,030
25mm	1,400	1,570	1,680	1,815	1,950	2,050
40mm	3,000	3,400	3,650	3,950	4,250	4,500
50mm	6,000	6,800	7,400	8,125	8,780	9,100
75mm	14,000	16,050	17,450	19,140	20,720	21,450
100mm	20,000	23,000	25,100	27,630	29,900	30,990
水量料金						
口径 13、20mm						
1～8 m ³	33	40	43	49	56	63
9～50 m ³	100	115	124	136	152	168
51 m ³ ～	120	140	150	165	180	194
口径 25、40mm						
1～10 m ³	45	55	59	67	76	86
11～50 m ³	105	120	128	142	157	173
51～100 m ³	115	135	145	165	184	198
101 m ³ ～	120	140	150	168	186	200
口径 50～100mm						
1～10 m ³	65	75	80	90	99	113
11～50 m ³	110	130	139	155	173	191
51～100 m ³	125	145	156	174	192	209
101 m ³ ～	140	162	173	193	212	227
平均改定率	14.75%	14.84%	7.99%	10.28%	10.65%	8.82%

第3表 豊田地域の水道料金の推移

(1ヶ月分、消費税抜き、単位：円)

料金改定時期	S55.10～	S59.5～	S62.4～	H元.4～	H3.4～	H12.4～	H21.4～
基本料金 口径13mm～	900 8 m ³ まで	1,100 8 m ³ まで	1,200 8 m ³ まで	1,360 7 m ³ まで	1,360 8 m ³ まで	1,450 8 m ³ まで	中野地域と 統一
水量料金 口径13mm～ 9 m ³ ～	100						
9 m ³ ～30 m ³ 31 m ³ ～		130 150	150 170				
8 m ³ ～20 m ³ 21 m ³ ～				175 195			
9 m ³ ～20 m ³ 21 m ³ ～					175 195	195 215	

第4表 水道料金比較表

(1ヶ月分、消費税込み、単位：円)

量水器の口径 (mm)	基本料金 (1ヶ月につき)			使用水量料金 (1月の使用水量1m ³ につき)			
	現行料金	改定料金	差額	使用水量の区分	現行料金	改定料金	差額
mm	円	円	円		円	円	円
13	518.40	528.00	9.60	8 m ³ まで	68.04	69.30	1.26
20	1,112.40	1,133.00	20.60	8 m ³ を超え 50 m ³ まで	181.44	184.80	3.36
				50 m ³ を超えるもの	209.52	213.40	3.88
25	2,214.00	2,255.00	41.00	10 m ³ まで	92.88	94.60	1.72
				10 m ³ を超え 50 m ³ まで	186.84	190.30	3.46
40	4,860.00	4,950.00	90.00	50 m ³ を超え 100 m ³ まで	213.84	217.80	3.96
				100 m ³ を超えるもの	216.00	220.00	4.00
50	9,828.00	10,010.00	182.00	10 m ³ まで	122.04	124.30	2.26
75	23,166.00	23,595.00	429.00	10 m ³ を超え 50 m ³ まで	206.28	210.10	3.82
100	33,469.20	34,089.00	619.80	50 m ³ を超え 100 m ³ まで	225.72	229.90	4.18
				100 m ³ を超えるもの	245.16	249.70	4.54

第5表 加入者分担金比較表

(単位:円)

量水器の口径(mm)	現行料金	改定料金	差額
mm	円	円	円
13	62,640	63,800	1,160
20	128,520	130,900	2,380
25	195,480	199,100	3,620
40	545,400	555,500	10,100
50	797,040	811,800	14,760
75	1,934,280	1,970,100	35,820
100	3,291,840	3,352,800	60,960

※ 加入者分担金とは、給水装置の新設、又は改造工事の申込みをする際に、納入していただくものです。

3 水道料金及び加入者分担金の消費税及び地方消費税増税分を増額したい理由

現在の水道事業は建設拡張の時代から、安全で良質な水を安定供給するという質的充実が求められる維持管理の時代へと移行しており、施設設備等の老朽化に伴う更新改良整備、良好で安定した水源の確保が急務となっており、また災害に強い設備整備が求められています。

このような中であって、中野市水道事業会計は平成 29 年度決算において、企業債残高 34 億 5,385 万余円をかかえ、さらに今後の設備投資を控えるなど将来に向けた健全経営の維持には大変厳しいものが予想されます。

これらの課題に対応するため人件費の削減を含めた経常経費の節減、平成 19 年度から平成 21 年度に実施された公的資金補償金免除繰上償還制度を完全に活用し、年 5%以上の企業債を繰上償還及び借換を実施し利子の圧縮を図り、また、コンビニ収納により使用者の利便性を高める等の経営の効率化を図り収益の確保に努めてきているところです。

「第 6 表 経営収支実績及び計画」の今後の収益的収支について、収益の大部分を占める給水収益（水道料金収入）は今後の水需要予測を毎年約 0.7%の減少を想定し、受託工事収益とその他の営業収益は実績額等から算出、営業外収益は利子の減少により一般会計補助金が減少することとして算出しました。

他方、費用は人件費、動力費、修繕費及び委託料等は実績額等に基づき算出しました。また、減価償却費等は今後の建設改良事業をもとに、支払利息については新たな企業債の発行の縮減に努めることにより利息は減少することで算出しました。

以上により、収益的収支は消費税及び地方消費税分を増額した場合、計画年度中は約 2 億 1,600 万円から 2 億 3,300 万円程の当年度純利益を確保できる見込みとなりました。また、増額しない場合の当年度純利益は約 2 億 800 万円から 2 億 1,700 万円であり、単年平均で約 1,350 万円減少する見込みとなりました。

資本的収支における支出は、安定供給を確保するために必要となる建設改良費を積算し、企業債償還額は各企業債の償還年次表により算出しました。これらに対応する収入として、企業債及び一般会計補助金等を算出しました。

この結果、資本的収支不足額については損益勘定留保資金及び消費税等資本的収支調整額により対応が可能であり、翌年度補てん可能額（繰越額）を確保できる見込みとなりましたが、計画期間中における不足額は増加傾向となり、消費税及び地方消費税分を増額しなかった場合、増額した場合と比べて 2021 年度における翌年度補てん可能額は約 4,100 万円の減少となる見込みです。

以上のことから消費税及び地方消費税分を増額しない場合は、納付すべき消費税及び地方消費税を料金でまかなうことになり、翌年度以降の補てん可能額が減少し、今後の水道施設設備の老朽化に伴う更新工事の財源が不足し、次世代の負担が増加することが予測されることから、消費税及び地方消費税分を増額したいと考えております。

用語の説明

用 語	意 味
企業債	水道事業が借り入れている借金です。平成 29 年度末では、まだ 34 億 5,385 万余円残っています。
企業債償還金	企業債を返済するお金です。
繰上償還	企業債を前倒しで返済することです。
公的資金補償金 免除繰上償還	企業債のうち年の利率が 5% 以上のものを、補償金を支払わないで一括で元金だけ返してよいという制度で、平成 19 年度から平成 21 年度に実施され、利率 5% 以上の利率の高い企業債はなくなりました。
借換	利率の高い借金を低いものへ借り換えることです。
簡易水道	計画給水人口が 101 人から 5,000 人までの範囲を対象として供給する水道のことです。
行政区域内人口	住民基本台帳による中野市の人口です。
給水人口	水道を使っている方の人数です。
配水量	飲める水にしてお配りした水の量です。
有収水量	メーターをとおってお金をいただいた水の量です。
有収率	お金になった水の率です。 有収水量 ÷ 配水量です
一般会計補助金	一般会計（中野市）からいただいた補助金です。
減価償却費	固定資産（建物、機械等）の価値の減少に伴い、耐用年数期間中の各年度に割り当てて計上した費用です。
資産減耗費	固定資産を廃棄する際に、残っている価値を除くために計上した費用です。
収益的収支	一事業年度の経営活動に伴い発生した収入（水道料金等）とそれに対応する支出（人件費、修繕費、減価償却費等）に係る収支です。
資本的収支	施設の建設、機械の更新といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還の費用と、それらの財源となる収入に係る収支です。
補てん財源	資本的収支の中で収入より支出が多い場合は会計で持っている留保資金（現金預金）で補てんします。 留保資金には主に以下のものがあります。 ① 損益勘定留保資金 減価償却費や資産減耗費のように費用として計上するが、実際には現金の動きがなく水道会計で持っている費用をいいます。 ② 利益剰余金 減債積立金（企業債を返済するための積立金）や建設改良積立金のことをいいます。
供給単価	1 m ³ あたりいくらで売ったかという単価です。 給水収益 ÷ 有収水量です
給水原価	1 m ³ あたり経費がいくらかかったかという単価です。 (経常費用 - 受託工事費 - 長期前受金戻入) ÷ 有収水量です。

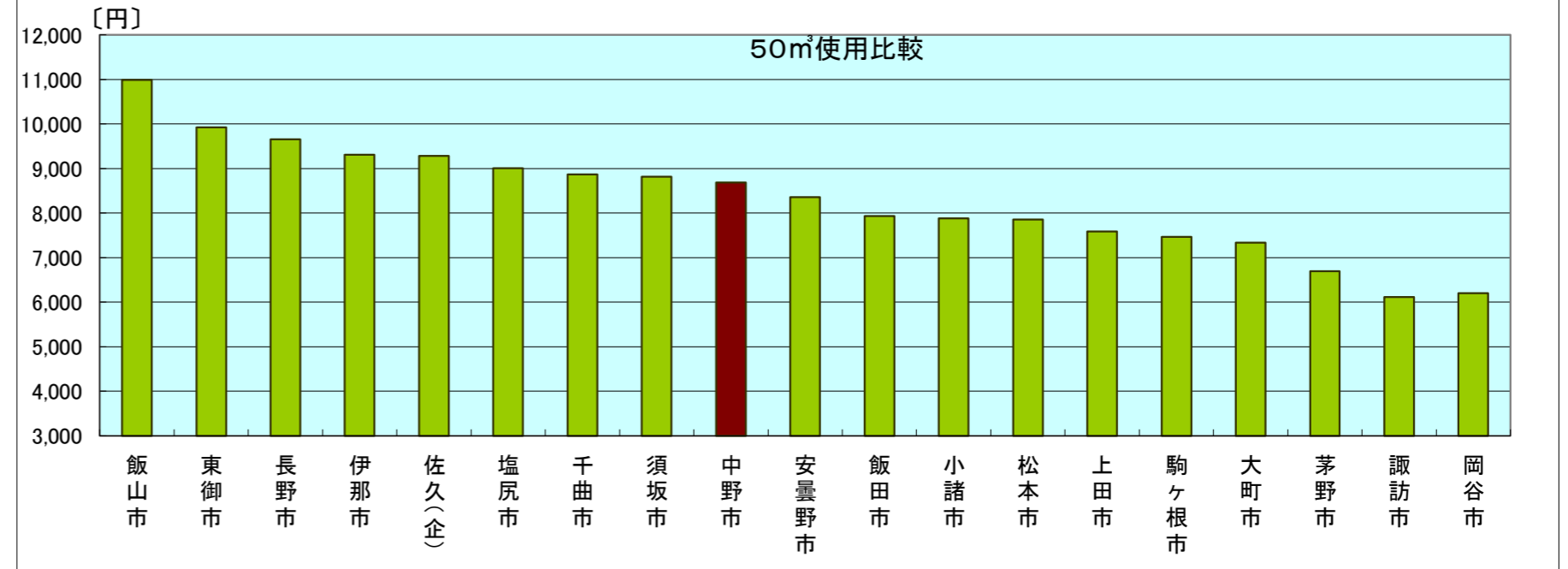
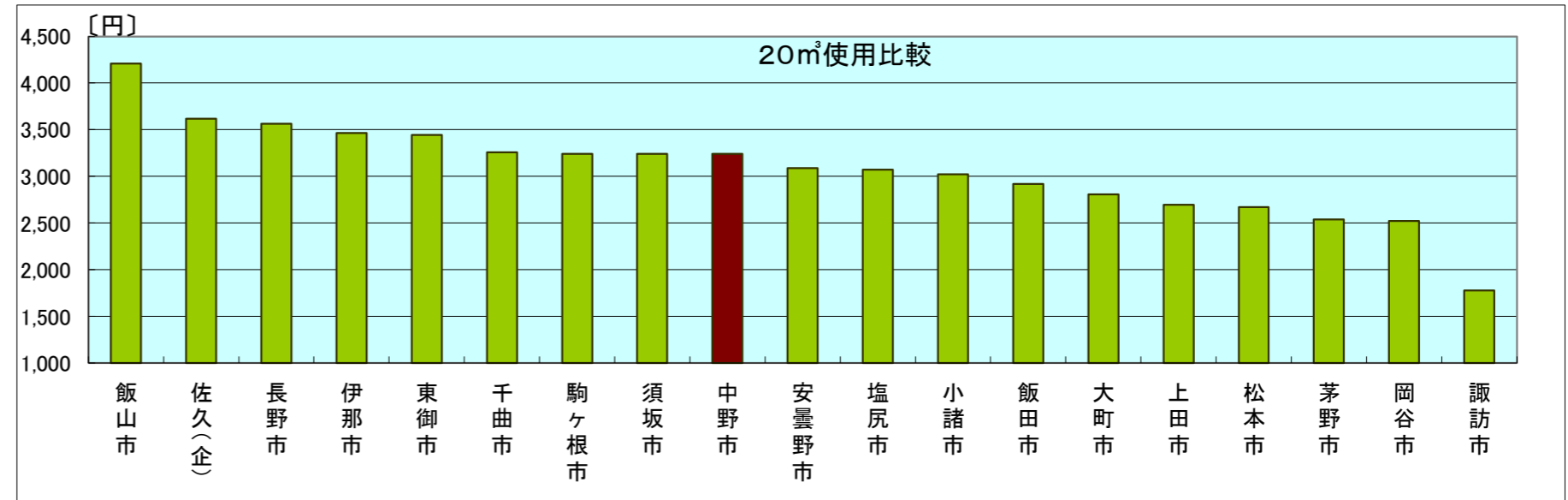
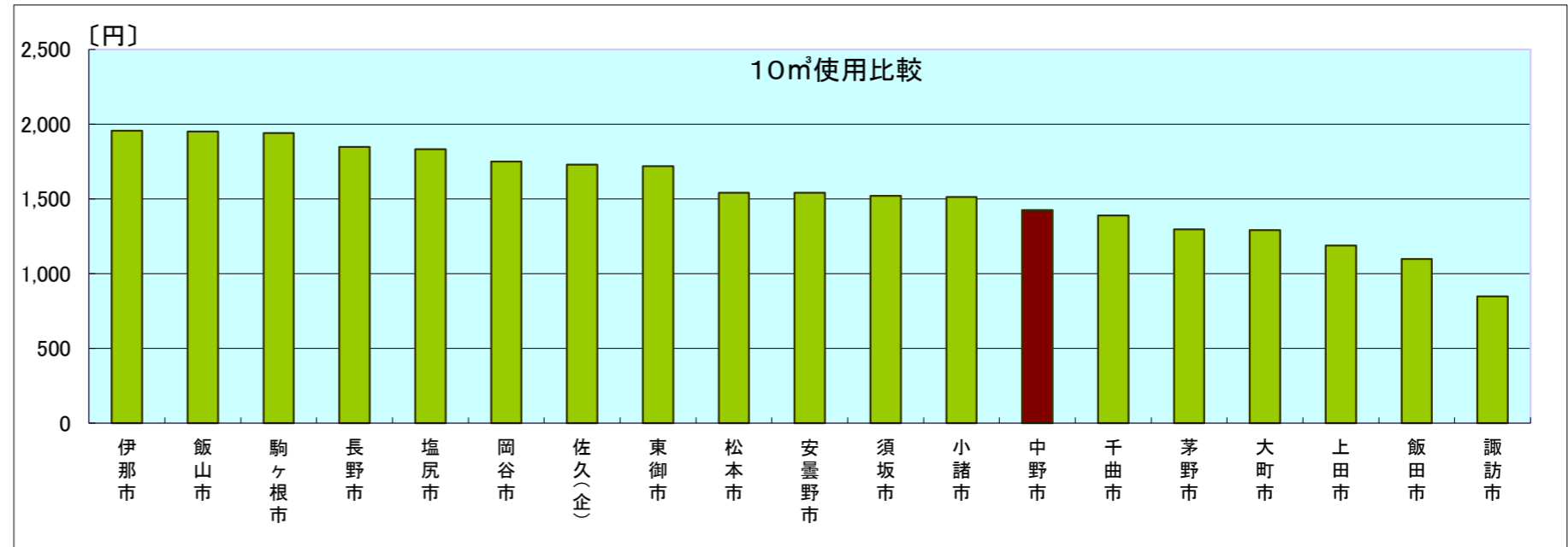
県内19市水道料金比較

口径13mm 1ヶ月使用料金 H30.12消費税込み、単位:円

	10m ³ 使用		20m ³ 使用		50m ³ 使用	
1	伊那市	1,954	飯山市	4,210	飯山市	10,990
2	飯山市	1,950	佐久(企)	3,618	東御市	9,925
3	駒ヶ根市	1,940	長野市	3,564	長野市	9,655
4	長野市	1,846	伊那市	3,466	伊那市	9,309
5	塩尻市	1,830	東御市	3,445	佐久(企)	9,288
6	岡谷市	1,749	千曲市	3,258	塩尻市	9,010
7	佐久(企)	1,728	駒ヶ根市	3,240	千曲市	8,868
8	東御市	1,717	須坂市	3,240	須坂市	8,820
9	松本市	1,540	中野市	3,240	中野市	8,683
10	安曇野市	1,540	安曇野市	3,090	安曇野市	8,360
11	須坂市	1,520	塩尻市	3,070	飯田市	7,930
12	小諸市	1,512	小諸市	3,024	小諸市	7,884
13	中野市	1,425	飯田市	2,920	松本市	7,860
14	千曲市	1,388	大町市	2,808	上田市	7,586
15	茅野市	1,296	上田市	2,696	駒ヶ根市	7,470
16	大町市	1,290	松本市	2,670	大町市	7,340
17	上田市	1,186	茅野市	2,538	茅野市	6,698
18	飯田市	1,096	岡谷市	2,521	諏訪市	6,119
19	諏訪市	846	諏訪市	1,777	岡谷市	6,204

19市平均	1,545	19市平均	3,073	19市平均	8,316
-------	-------	-------	-------	-------	-------

※ 用途別である諏訪市、大町市は一般家庭用で算出



口径別使用水量別水道料金比較表(1ヶ月分、消費税込み、単位:円)

口径20mm 100m ³ 使用		口径40mm 500m ³ 使用		口径50mm 1,000m ³ 使用		口径75mm 5,000m ³ 使用			
1	東御市	23,965	東御市	153,565	東御市	315,565	東御市	1,611,565	1
2	長野市	22,610	長野市	133,185	長野市	269,643	長野市	1,337,050	2
3	飯山市	22,390	伊那市	124,815	中野市	251,229	中野市	1,245,207	3
4	伊那市	22,172	駒ヶ根市	123,120	伊那市	249,879	駒ヶ根市	1,218,420	4
5	駒ヶ根市	21,640	塩尻市	119,820	駒ヶ根市	247,550	須坂市	1,182,690	5
6	須坂市	20,660	須坂市	116,340	須坂市	237,770	小諸市	1,138,640	6
7	塩尻市	20,540	飯山市	113,820	塩尻市	236,030	飯山市	1,132,880	7
8	佐久水道 企業団	19,774	中野市	110,354	飯山市	227,850	塩尻市	1,131,090	8
9	中野市	19,753	小諸市	104,640	小諸市	220,910	伊那市	1,110,326	9
10	小諸市	18,780	佐久水道 企業団	103,950	佐久水道 企業団	206,874	茅野市	1,001,700	10
11	安曇野市	18,690	茅野市	102,060	茅野市	205,740	佐久水道 企業団	995,382	11
12	千曲市	18,218	松本市	100,440	上田市	194,744	安曇野市	948,090	12
13	松本市	17,710	上田市	98,632	松本市	194,400	千曲市	934,518	13
14	上田市	17,423	安曇野市	96,690	安曇野市	193,800	上田市	927,265	14
15	茅野市	17,064	千曲市	93,018	千曲市	186,759	松本市	915,840	15
16	飯田市	16,620	飯田市	88,437	飯田市	174,597	飯田市	853,252	16
17	岡谷市	14,477	岡谷市	82,333	岡谷市	170,893	岡谷市	769,321	17
	平均	19,558	平均	109,719	平均	222,602	平均	1,085,484	

※ 諏訪市、大町市は用途別のため除く

業務量等の実績及び予定表

区 分		実 績			予 定	計 画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度
行政区域内人口	① (人)	45,616	45,160	44,740	44,664	44,351	44,041	43,733
給水人口	② (人)	44,416	43,973	43,563	43,512	43,207	42,905	42,605
普及率	②/① (%)	97.37	97.37	97.37	97.42	97.42	97.42	97.42
調定件数	(件)	108,952	109,405	109,542	109,542	109,542	109,542	109,542
内 訳	一般家庭用	(件)	97,240	97,698	97,818	97,818	97,818	97,818
	営業用	(件)	7,009	6,955	6,936	6,936	6,936	6,936
	工場用	(件)	766	668	637	637	637	637
	官公署用	(件)	1,791	1,800	1,797	1,797	1,797	1,797
	学校用	(件)	236	228	229	229	229	229
	その他	(件)	1,910	2,056	2,125	2,125	2,125	2,125
施設能力	③ (m ³ /日)	25,580	25,880	41,257	41,257	41,257	41,257	41,257
年間配水量	④ (m ³)	5,572,354	5,856,243	5,832,865	5,880,694	5,855,528	5,814,540	5,773,838
年間有収水量	⑤ (m ³)	4,683,675	4,850,150	5,011,252	5,052,085	5,030,465	4,995,252	4,960,285
有収率	⑤/④ (%)	84.05	82.82	85.91	85.91	85.91	85.91	85.91
一日最大配水量	⑥ (m ³)	17,363	18,595	18,915	19,070	18,988	18,856	18,724
一日平均配水量	⑦ (m ³)	15,267	16,045	15,980	16,111	15,999	15,930	15,819
負荷率	⑦/⑥ (%)	87.93	86.28	84.49	84.49	84.25	84.49	84.49
施設利用率	⑦/③ (%)	59.68	62.00	38.73	39.05	38.78	38.61	38.34
最大稼働率	⑥/③ (%)	67.88	71.85	45.85	46.22	46.02	45.70	45.38
正規職員数 (年度末)	(人)	10	10	10	9	9	9	9
内 訳	損益勘定職員数	(人)	6	6	6	6	6	6
	資本勘定職員数	(人)	4	4	4	3	3	3
嘱託、臨時職員数 (年度末)	(人)	2	2	2	2	2	2	2

第6表 経営収支実績及び計画

(単位：千円)

区 分		実 績 額			予定額 平成30年度 (現計予算見込)	水道料金等を消費税及び地方消費税分増額した場合 (消費税10%) の計画額			水道料金等を消費税及び地方消費税分増額しない場合 (現行料金) の計画額				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度		2019年度(平成31年度) (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)	2019年度(平成31年度) (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)		
収益	営業収益	給水収益	832,047	868,878	907,418	907,795	901,440	895,130	888,864	893,170	878,855	872,703	
		受託工事収益	1,983	3,492	2,825	6,249	3,230	3,556	3,870	3,230	3,556	3,870	
		その他の営業収益	27,026	27,828	23,264	14,947	23,555	23,324	22,584	23,555	23,324	22,584	
	営業外収益	一般会計補助金	9,406	8,871	8,034	7,326	6,464	5,898	5,304	6,464	5,898	5,304	
		長期前受金戻入	105,011	119,631	109,439	105,544	107,727	106,455	99,654	107,727	106,455	99,654	
		資本費繰入収益	27,435	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他の営業外収益	3,096	1,474	1,121	1,671	1,850	1,842	1,592	1,850	1,842	1,592	
	経常収益 (A)		1,006,004	1,030,174	1,052,101	1,043,532	1,044,266	1,036,205	1,021,868	1,035,996	1,019,930	1,005,707	
	費用	営業費用	人件費	41,588	41,383	41,953	41,283	41,562	41,554	41,547	41,562	41,554	41,547
			動力費	59,009	49,662	51,292	53,475	53,943	53,476	52,370	53,943	53,476	52,370
			光熱水費	1,642	736	1,518	2,159	1,560	1,523	1,499	1,560	1,523	1,499
			通信運搬費	2,382	2,303	2,578	2,616	2,443	2,464	2,481	2,443	2,464	2,481
修繕費			57,336	52,306	44,457	80,836	55,781	58,143	58,305	55,781	58,143	58,305	
材料費			53	71	72	164	96	91	99	96	91	99	
薬品費			6,413	5,435	5,151	7,553	6,136	6,138	6,083	6,136	6,138	6,083	
路面復旧費			80	0	0	5,251	1,066	1,279	1,519	1,066	1,279	1,519	
委託料			92,167	123,121	112,636	130,342	110,537	113,761	118,079	110,537	113,761	118,079	
受託工事費			1,920	2,850	2,900	6,248	3,440	3,472	3,782	3,440	3,472	3,782	
その他		37,275	35,912	32,733	42,984	36,823	37,145	37,119	36,823	37,145	37,119		
減価償却費 (B)	421,448	433,613	439,356	442,292	444,545	424,687	400,021	444,545	424,687	400,021			
営業外費用	資産減耗費 (C)	14,181	46,844	10,402	27,701	18,352	20,672	23,903	18,352	20,672	23,903		
支払利息	71,755	65,278	59,679	55,197	49,677	44,911	40,282	49,677	44,911	40,282			
経常費用 (D)		807,249	859,514	804,727	898,101	825,961	809,316	787,089	825,961	809,316	787,089		
特別利益 (E)		680	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別損失 (F)		0	58	0	1,605	1,692	671	805	1,692	671	805		
当年度純利益(一損失) (G=A-D+E-F)		199,435	170,602	247,374	143,826	216,613	226,218	233,974	208,343	209,943	217,813		
資本的収支	収入	企業債	212,300	163,200	132,300	134,600	101,400	109,600	119,300	101,400	109,600	119,300	
		工事負担金	13,559	17,621	13,491	11,923	15,871	16,219	16,598	15,725	15,924	16,296	
		補助金	23,515	27,512	20,160	16,196	15,881	17,782	17,449	15,881	17,782	17,449	
		その他	455	500	972	2,140	1,003	1,014	1,126	1,003	1,014	1,126	
		翌年度へ繰越される支出の財源充当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	総収入 (H)	249,829	208,833	166,923	164,859	134,155	144,615	154,473	134,009	144,320	154,171		
	支出	建設改良費	388,802	262,963	221,277	255,224	202,758	219,281	238,629	202,758	219,281	238,629	
企業債償還金		320,558	310,849	267,392	243,533	229,806	244,387	248,810	229,806	244,387	248,810		
総支出 (I)		709,360	573,812	488,669	498,757	432,564	463,668	487,439	432,564	463,668	487,439		
資本的収支差引 (J=H-I)		-459,531	-364,979	-321,746	-333,898	-298,409	-319,053	-332,966	-298,555	-319,348	-333,268		
補てん財源	損益勘定留保資金	283,900	282,792	307,472	320,153	268,580	302,723	314,914	268,714	302,992	315,188		
	利益剰余金処分額	150,000	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0		
	消費税等資本的収支調整額	25,631	2,187	14,274	13,745	29,829	16,330	18,052	29,841	16,356	18,080		
	計	459,531	364,979	321,746	333,898	298,409	319,053	332,966	298,555	319,348	333,268		
翌年度補てん可能額(繰越額)		1,191,680	1,358,129	1,624,076	1,798,453	2,071,827	2,317,896	2,543,174	2,063,411	2,292,910	2,501,725		
区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (現計予算見込)	2019年度(平成31年度) (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)	2019年度(平成31年度) (計画)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)		
供給単価(円/㎡)		177.65	179.14	181.08	179.69	179.20	179.20	179.20	177.55	175.94	175.94		
給水原価(円/㎡)		149.52	151.96	138.17	155.64	142.09	140.01	137.83	142.09	140.01	137.83		
差額(1㎡あたりの利益) (円)		28.13	27.18	42.91	24.05	37.10	39.19	41.37	35.46	35.93	38.11		

増額した場合と増額しない場合の本体価格のイメージ

